



例年、理学療法学専攻の4年生は、臨床実習Ⅰを病院で行います。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年はwebで実習に取り組みました。

実習の進め方は、教員が作成した模擬患者の情報（カルテや患者情報、動画）を配布。その情報をもとにweb会議システム（classroom、zoom）を用いて教員に問診を行い、評価や治療方法を個人又はグループで検討します。実際の評価や治療は、先生が理学療法士役や患者役になり、発表者が治療方法を理学療法士役の教員に指示して治療を行いました。最後に実習で得た情報をまとめ、web会議システムで発表、共有しました。

先生方が行う治療を拝見することができて、とても参考になりました。また、繰り返し見てスキルアップを図ることができました。臨床実習Ⅱは、実際に病院に行くことができます。手配して下さった教職員の方々、実習先の病院に感謝しています。



高梨 凌平  
大学 4年  
リハビリテーション学科  
理学療法学専攻  
千葉県立長狭高等学校出身



丹司 梨帆  
大学 4年  
リハビリテーション学科  
理学療法学専攻  
千葉県立市川東高等学校出身



画面越しに患者様をイメージしながら問診、評価、治療を行っていくのは大変でした。しかし、先生方が親身になって教えてくださったのでとても感謝しています。また、仲間と情報共有しながら実習できたことも良かったです。



### ～就職が決まりました～

安孫子 優香  
短大 2年  
福祉学科  
児童障害福祉専攻  
千葉県立船橋啓明高等学校出身

0歳～18歳までの子どもが遊びにくる児童館で、児童厚生員として働きます。親が働いていたこともあり、私にとって馴染み深い仕事でした。児童厚生員として働くためには、幼稚園教諭免許状や保育士の資格が必要で、両方の資格を取得できる植草学園短期大学に入学し、児童厚生員をめざしていました。

しかし、あまり求人が多くない職種で私が就職を希望した法人の倍率も約10倍でした。先生方やキャリア支援課の職員の方から、面接や筆記試験などのご指導をいただき、就職試験の際には、しっかりと自分の考えや思いを伝えることができました。おかげさまで内定をいただくことができ、本当に感謝しています。児童館には障害のある子どももたくさん遊びにきます。児童障害福祉専攻で学んだ「インクルーシブ保育」を大切に、子どもたちの支援をしていきたいと考えています。



### ～授業紹介～

鈴木 恵  
大学 1年  
発達教育学部  
発達教育支援学科  
千葉県立袖ヶ浦高等学校出身

子どもと表現Ⅰ(身体)の授業では、グループで料理のテーマを決め、体で表現する活動に取り組みました。私たちのグループは「オムライスをつくろう」にしました。子どもたちが思わず真似したくなるような動きや、体全体を使える表現をすることにこだわりました。何気なく行っている料理を体で表現する難しさを感じました。タマネギ、にんじん、ピーマンなど切り方や調理の方法によって違う表現にする工夫をしました。同じ目標に向かって友だちと一緒に学び合えることはとても楽しいと感じています。

